

令和6年度 公募型共同研究の採択を決定しました

(公財)若狭湾エネルギー研究センターでは、研究開発の成果を社会に還元していくため、実用化を目指す研究に重点を置き、企業や大学・研究機関との公募型共同研究を実施しています。

令和6年度は、4月15日～5月31日に公募を行い、審査の結果、下記7件(実用化研究1件、産学連携研究2件、基礎研究4件)の研究提案について採択を決定いたしました。

記

【実用化研究】(1件) ※当法人の研究成果を実用化することを目指す企業を加えた共同研究

件名	研究概要	[提] 提案機関
光応答制御による高付加価値レタスの栽培方法の確立	植物工場のレタス栽培において、特定波長のLED照射によって赤色素の合成反応を制御し、十分に発色した赤色レタスの栽培手法を開発する。	[提] 株式会社フレデリッシュ

【産学連携研究】(2件) ※実用化を目指す企業を加えた共同研究 (順不同)

件名	研究概要	[提] 提案機関 [企] 参加企業 [協] 研究協力機関
スルホン化ポリエーテルスルホン(S-PES) ナノファイバー電解質膜からなる高性能燃料電池の開発	高分子電解質型燃料電池において一般的に用いられているフッ素系スルホン酸電解質膜に比べ、熱安定性や電気伝導性に優れた電解質膜の開発を目指す。	[提] 福井大学 [企] カトーテック株式会社 [協] 茨城大学 [協] シンワ株式会社 [協] 小西化学株式会社 [協] パナソニック株式会社
国産チーズスターターとなる乳酸菌のイオンビーム育種研究	福井県産のソバ等から単離した植物性乳酸菌から、イオンビーム育種により風味豊かなチーズ作製に適したスターター乳酸菌を取得し、地域発のブランドチーズ開発を目指す。	[提] 福井県立大学 [企] 若狭の手作りチーズ工房 La Verita [協] 越前チーズ工房

【基礎研究】(4件) ※大学・研究機関との共同研究 (順不同)

件名	研究概要	[提] 提案機関 [協] 研究協力機関
イオン照射による低損失磁性材料の機械特性改善	次世代パワーエレクトロニクス回路の高効率化に必要な不可欠とされる低損失磁性材料の加工性をイオン照射により改善し、新しい磁性材料の開発を目指す。	[提] 東北大学
粒子線治療におけるアブスコパル効果イメージングに関する基礎的検討	粒子線治療においてアブスコパル効果が起きる条件を検討し、小動物を用いたPET分子イメージングによってアブスコパル効果のイメージングを試みる。	[提] 福井大学
炭水素産生藻 Botryococcus の油脂細胞外輸送遺伝子の特定	石油を作る微細藻類 Botryococcus braunii の油脂細胞外輸送遺伝子の候補をイオンビーム育種の活用により特定し、候補遺伝子の単細胞緑藻への遺伝子導入による検証を行う。	[提] 大阪工業大学 [協] 東京大学
宇宙応用が期待されるシリコンフォトニクス素子の高エネルギー放射線耐性の解明	シリコンフォトニック結晶デバイスの人工衛星利用に向けて、イオンビームをデバイスに照射して、性能劣化の照射ドーズ依存性、エネルギー依存性を定量的に明らかにする。	[提] 大阪公立大学

【お問い合わせ先】
公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター
企画支援広報部 五十嵐
TEL 0770-24-7273